

## 河井寛次郎展 - 寛次郎の魅力は何ですか -

[会 期] 令和 5 年 12 月 16 日 (土) - 令和 6 年 3 月 10 日 (日)

[会 場] 豊田市民芸館 第 1・2 民芸館  
愛知県豊田市平戸橋町波岩 8 6 - 1 0 0

[開催概要] 開館時間 午前 9 時 - 午後 5 時  
休 館 月曜日・年末年始 (12 月 28 日 - 1 月 4 日)、  
ただし祝日 (1 月 8 日、2 月 12 日) は開館  
観 覧 料 一般 500 円 高大生 300 円  
中学生以下と豊田市内在住の 70 歳以上、  
障がい者は無料 (要証明) ※その他減免あり  
主 催 豊田市民芸館  
共 催 中日新聞社  
協 力 河井寛次郎記念館、京都国立近代美術館



呉洲陶彫像  
昭和 37 年頃 54.8×20.0×16.4 cm  
河井寛次郎記念館蔵

### [展示概要]

日本を代表する陶芸家・河井寛次郎 (1890-1966) は、柳宗悦、濱田庄司とともに日用雑器の美へ関心を深め、「民藝」の新語を作り、民藝運動を推進しました。本展では当館開館 40 周年事業の一環として、開館 50 周年を迎えた京都の河井寛次郎記念館の所蔵品より、陶芸家・河井寛次郎の創作活動の全貌を紹介します。

河井の陶業は、東洋陶磁に倣った初期作品、民藝運動を牽引する中での実用を意識した中期作品、独創的な造形美へと変化した後期作品に大別され、いずれも技巧性・独創性において高く評価されています。また、陶業のみにおさまらず、その表現は木彫や書、デザイン分野など多岐にわたります。

今回は河井寛次郎の陶業の仕事や、昭和・戦後期に作られた木彫像や木彫面、真鍮のキセル、河井の人間性・精神性を表現した書など、3 点の初公開作品もあわせて約 200 点展覧し、多くの人々を惹きつけてやまない「表現者・河井寛次郎」の魅力にアプローチします。

また、関連企画として、美術家の中村裕太 (1983-) が、河井の仕事にみられる造形感覚をその暮しぶりからひも解いていく展示を行います。(詳細は次ページ)

### [関連事業]

#### □ 記念講演会「祖父・河井寛次郎」

日 時：令和 6 年 1 月 20 日 (土) 午後 2 時 - 3 時半  
講 師：鷺珠江氏 (河井寛次郎記念館学芸員)  
会 場：第 3 民芸館  
聴 講：無料 (ただし会期中の観覧券提示必要)  
定 員：先着 50 名 (事前申込み不要)

#### □ 「河井寛次郎の器でお茶を楽しむ」

日 時：令和 6 年 1 月 21 日 (日) 午前 10 時 - 11 時半 / 午後 1 時半 - 3 時  
講 師：鷺珠江氏 (河井寛次郎記念館学芸員)  
会 場：茶室 勘桜亭 (豊田市民芸館内)  
参加費：2,500 円  
定 員：各回 10 名 (要事前申込み)

申込み：往復はがき、または豊田市民芸館ホームページの講座申込みフォームで、1 月 5 日 (金) までに必着。  
往復はがきの場合は、往信裏面に講座名・参加者名・住所・電話番号を記入。(1 枚のはがきで 2 名までの申込み可)

#### □ ギャラリートーク (豊田市民芸館学芸員による展示解説)

日 時：令和 6 年 2 月 17 日 (土) 午後 2 時から (1 時間程度)  
聴 講：無料 (ただし当日の観覧券提示必要)

[関連企画]

**眼で聴き、耳で見る | 中村裕太が手さぐる河井寛次郎**

河井寛次郎展の関連企画として、美術家中村裕太（1983-）が、河井の仕事にみられる造形感覚をその暮らしからひも解いていく展示を行います\*。河井は日本民藝館の初代館長である柳宗悦と志を同じくし、民藝運動を共に牽引しました。本展では、豊田市第1民芸館が日本民藝館の建物の一部（大広間と館長室）を移築したものであることに着目し、元館長室に河井と柳にまつわる作品や資料などを設けていきます。会期中には、河井寛次郎記念館が所蔵している作品や家具などをとくに中村が制作した造形物に触れるワークショップも開催します。

\*本展は、2022年に京都国立近代美術館で「感覚をひらく」事業として開催された鑑賞プログラムを一部再構成するとともに、新たな視点を加えて開催します。

作家紹介 | 中村裕太

1983年東京生まれ、京都在住。京都精華大学博士後期課程修了。博士（芸術）。京都精華大学芸術学部准教授。〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。近年の展示に「チョウの軌跡 | 長谷川三郎のイリュージョン」（京都国立近代美術館、2023年）、「第17回イスタンブール・ビエンナーレ」（パリ・ハン、2022年）、「眼で聴き、耳で見る | 中村裕太が手さぐる河井寛次郎」（京都国立近代美術館、2022年）、「万物資生 | 中村裕太は、資生堂と を調合する」（資生堂ギャラリー、2022年）、「MAM リサーチ 007：走泥社—現代陶芸のはじまりに」（森美術館、2019年）、「あいちトリエンナーレ」（愛知県美術館、2016年）、「第20回シドニー・ビエンナーレ」（キャリッジワークス、2016年）など。著書に『アウト・オブ・民藝』（共著、誠光社、2019年）。

[関連事業]

□トークショー「河井寛次郎に聴き、柳宗悦に視る」

日 時：令和5年12月16日（土）午後2時～3時半

講 師：軸原ヨウスケ（デザイナー）・中村裕太（出品作家）

会 場：第3民芸館

聴 講：無料（ただし当日の観覧券提示必要）

定 員：先着40名（事前申込み不要）

□ワークショップ「眼で聴き、耳で見る」

日 時：①令和5年12月16日（土）午前10時半～12時

②令和6年3月2日（土）午後2時～3時半

講 師：中村裕太（出品作家）

会 場：旧館長室（第1民芸館内）

参加費：無料（ただし会期中の観覧券提示必要）

定 員：各回8名程度（要事前申込み）

申込み：豊田市民芸館ホームページの講座申込みフォームで①12月6日（水）②2月21日（水）までに必着。

※日程や内容に変更が生じる場合があります。最新情報および関連事業の詳細については当館ホームページでご確認いただくが、電話にてお問合せください。

・展示内容に関するお問い合わせ 担当：岩間（いわま）

・広報画像提供に関するご依頼 担当：佐敷（さしき）

〒470-0331

愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

E-mail: [mingeikan@city.toyota.aichi.jp](mailto:mingeikan@city.toyota.aichi.jp)

Tel: 0565-45-4039

Fax: 0565-46-2588

**豊田市民芸館**

豊田市民芸館開館 40 周年記念・河井寛次郎記念館開館 50 周年記念

「河井寛次郎展 -寛次郎の魅力は何ですか-」広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は以下を記入の上、Fax か e-mail でお送りください。

送り先：豊田市民芸館 佐敷（さしき）

Tel:0565-45-4039 Fax:0565-46-2588 e-mail:mingeikan@city.toyota.aichi.jp

お名前	様
ご所属	
Tel	
Fax	
e-mail	
掲載紙/メディア名	
発売、放送予定日（雑誌の場合は〇月号）	
必要な画像等の番号	
必要な鑑賞券枚数（最大 5 組 10 名分）*	枚
鑑賞券の送付先*	〒

\* 読者プレゼント等のため希望する場合のみご記入ください。

広報用貸出画像 作品キャプション

<p>1</p>  <p>呉洲陶彫像   昭和 37 年頃   54.8×20.0×16.4 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>2</p>  <p>三彩鳥天使水注   大正 12 年頃   17.4×20.0×9.8 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>3</p>  <p>青瓷鱗血文桃注   大正 11 年頃   10.0×19.0×12.5 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>
<p>4</p>  <p>碧袖貼文扁壺   昭和 40 年頃   25.4×26.0×20.8 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>5</p>  <p>三色打葉扁壺   昭和 36 年頃   30.0×23.1×17.4 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>6</p>  <p>木彫面   昭和 34 年頃   59.5×36.5×13.0 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>
<p>7</p>  <p>辰砂刷毛目扁壺   昭和 12 年頃   25.5×20.0×14.5 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>8</p>  <p>拓本「此世このまゝ大調和」   昭和 25 年頃   46.0×46.0 cm   河井寛次郎記念館蔵</p>	<p>資料の使用には以下の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。</li> <li>・ ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。</li> </ul>

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日 年 月 日

画像送付 校正 修正 配信・配本